



# エコ・ファーストの約束(更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣 山本 公一 殿

平成28年12月19日

株式会社ブリヂストン

取締役 代表執行役CEO 兼 取締役会長

津谷 正明

ブリヂストングループは、「未来のすべての子どもたちが『安心』して暮らしていくために…」という思いを込めた「環境宣言」に基づき、持続可能な社会の実現に向けて地球環境の保全及び、多様な生活者一人ひとりの安全と健康に配慮した企業活動を推進します。

## 1 循環型社会の実現に向け、リトレッドタイヤの展開拡大などの3R活動を推進します。

- トラック・バス用の新品タイヤとリトレッドタイヤ(摩耗したタイヤの接地面へ新たなゴムを貼り替え再利用できるようにしたタイヤ)・メンテナンスサービスの最適な組み合わせをご提案する当社の先進的なソリューションビジネスにより、資源生産性の向上などを通じた社会価値及び安全運行や経費削減(燃費向上、長寿命化など)を通じたお客様の価値を創造します。  
この組み合わせに欠かせないリトレッドタイヤについては、より省資源化を進めるための技術開発(耐久性を確保し、リトレッド回数を増やすなど)を促進するとともに、国内のリトレッドタイヤ販売比率を2020年においても2014年実績以上とするように普及に努めます。
- 空気圧がゼロになっても所定のスピードで一定距離を走行できる「ランフラットテクノロジー採用タイヤ」をお客様に使用していただくことで、ほとんど使われずに廃棄されるスペアタイヤをなくす事が可能になります。この普及を通して廃棄物削減へ貢献するべく、ランフラットテクノロジー採用タイヤの販売量をグローバルで2020年までに2009年対比3倍以上とすることを目指します。
- 分別の徹底などの3R活動を推進するとともに、仕損率低減などモノづくりでの廃棄物削減に取り組みながら、国内グループ全体でのゼロエミッション活動を維持継続します。

## 2 自然共生社会の実現に向けた、生物多様性保全活動を推進します。

- 地域の文化と、そこにある生態系・種・遺伝子の多様性を理解し、この双方に配慮するとともに、グローバルネットワークを活かして、継続的に生物多様性保全活動を世界中に広げていくことに努めます。  
【日本】 ・「エコピアの森プロジェクト」  
・「ブリヂストン びわ湖生命の水プロジェクト」 など  
【海外】 ・野生生物の生息地保全(アメリカ)  
・NGOと協同で実施する生態保護プロジェクト(中国) など
- 大学・自治体・民間団体等と連携して行う生物多様性に関する研究(「W-BRIDGE」プロジェクトなど)や教育活動を通じ、生物多様性の重要性をグループ内外に伝えることによってグローバルでの生物多様性の保全に貢献していきます。

## 3 地域社会や子どもたち、従業員とともに環境意識を醸成する独自の環境教育を推進します。

- 子どもたちが地球環境の大切さを考える機会として「ブリヂストン子どもエコ絵画コンクール」の開催や、ものづくりと環境について理解を深める「ブリヂストン環境ものづくり教室」を、当社事業所近隣の小学校で開催し、子供たちの環境意識の醸成に貢献していきます。
- 地域社会と従業員が一体となった環境意識の啓発の場(栃木工場にて実施している「グリーンハーモニープラント活動」をはじめとした清掃活動や緑化活動など)を積極的に設け、環境教育をグローバルで推進していきます。
- エコドライブなどの訴求により、グローバルでお客様の環境意識を啓発し、環境負荷を低減する車社会の形成に貢献します。

ブリヂストングループは上記取組みの進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。